

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成29年度採択分）  
 「世界トップクラス学術誌入りを目指した、掲載論文の多様化と質的向上の取組み」  
 （課題番号：17HP2004）

学術団体名：公益社団法人 日本油化学会  
 学術刊行物の名称：Journal of Oleo Science  
 事業期間：平成29(2017)年度～令和3(2021)年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

本誌（Journal of Oleo Science: JOSと略記）は、科研費補助金を受給し、世界のトップジャーナルを目指した取組を進めてきている。そのため、日本油化学会（JOCS）の存在感強化およびJOS本体の強化、の両者の強化を特徴としている。まずJOSがアジア～中東地区でのNo.1学術誌の地位を盤石なものとするを目的とし、JOS・JOCSのファンを増やし、海外から優先的に投稿され、かつ愛読される趨勢を確立することに意義があると考えた。そのために、JOCSがオレオサイエンス分野でのイニシアチブを継続し続けること、またJOSの学術レベル向上はもとより魅力度と知名度の一層の向上のために次の方法を実施してきている。

- ①JOSとJOCSの存在感強化：国際会議を主催して海外（特に東南アジア）から一流の研究者を招聘し、かつJOSにその特集号を刊行する。若手研究者に対する教育的支援、国際学会にてJOCS関係者の活躍のための支援を行う。JOSとJOCSを中心とした内外研究者のネットワークの構築を強化していく。
- ②JOSが最優先の投稿先：投稿を容易にしました掲載論文を読みやすくする、被検索性向上、のため、次のことを行ってきた。①J-STAGEへの円滑な搭載体制の維持、②JOCSのHP内にJOSのHPを開設、③他ジャーナル・媒体にJOS論文を紹介、④スコラワン投稿システム活用、⑤早期公開体制、⑥論文の多様化として、電子付録（Supporting Information）・Graphical Abstract・PDF版に加えてXML版も公開、⑦一部論文の動画やInfographicsの公開、⑧新分野の新設、⑨特に日本人論文のNative Check、⑩剽窃チェックシステムによる品質確認、⑪外国人査読者を増やすため査読者選定システムを活用。

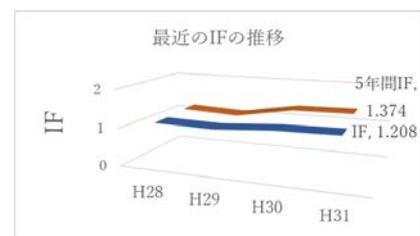
### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

- A) JOS/JOCSのファンづくりと研究者ネットワーク強化のため、国際会議の主催、海外研究者の招聘と国内研究者の海外派遣、若手研究者の教育。
- B) JOSの知名度向上・掲載論文の多様化・質的向上によるインパクトファクタ(IF)（目標1.5）、投稿数（300報）、アクセス数（ダウンロード35万件）の増加。

## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

- A) 第2回アジアオレオサイエンス会議（ACOS）を2017年に開催後、JOCSの存在感により世界オレオサイエンス会議（WCOS2022）を2022年に開催する。その間も海外から研究者招聘。著名外国人編集委員は6人に増え、アジア油化学会員も増加。
- B) J-STAGEを活用した広報、HPの開設、早期公開・電子付録等様々な形式での公開、英文のNative Check等により、IF、投稿数、アクセス数は上昇継続。



- C) 中国からの論文の質向上と投稿数増加により掲載論文数が急速に増加し、2019年には日本に比肩するまでになっている。このことは当初目標である「アジア～中東地区でのNo.1学術誌の地位の確立」が達成されつつあるとの見方が可能。引続きIF 1.5をめざす。

	H28	H29	H30	H31
投稿数	254	281	261	249 (～9/30)
			(H30は掲載料徴収方針の浸透のためか)	
全アクセス数	644476	820064	706683	519471 (～9/30)
PDF全文ダウンロード数	325541	231548	269527	226407 (～9/30)
	(H28,29は海外からの大量取得の可能性)			
参考値：掲載数	114	155	171	109 (～9/30)
中国の掲載率(%)	9.6	7.1	15.8	30.3 (～9/30)
外国人査読者(%)		30.1		45.6 (直近半年)
アジア油化学会員数	19	16	23	34 (～9/30)

### ・今後の計画

- a) JOS/JOCSのファン、アジア会員を増やし、世界脂肪酸会議委員長にJOCS関係者を就任させるなどしてJOCSの存在感を一層強化し、WCOS2022を成功させる。
- b) 興味ある特集号の企画や質の高い論文の掲載、HP、SNS等の活用によるJOS論文の露出度アップ/検索性向上や論文の広報に努め、投稿数、IF、アクセス数の増加に努める。